

## 定例公安委員会の開催状況について

令和5年4月27日に、第12回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

### 1 山形県警察ワークライフバランス等の推進状況について

山形県警察ワークライフバランス等の推進状況について報告があった。

#### 委員のコメント

- 休暇は、取得日数のみにこだわることなく、個別の事情に応じて柔軟に休暇を取得させるなど、職場環境の改善に、より一層配意してほしい。
- 男性の育児休業取得者数、取得者率が前年比で2倍近くになるなど、取組の成果が見られる。また、女性職員の一層の活躍に向けて、キャリアアップ支援に取り組んでほしい。
- 男性職員の育児参画は国の施策でもある。各施策に計画的に取り組んでほしい。警察官募集活動で女性が働きやすい職場であることを、もっとアピールしてほしいか。

### 2 令和5年度 警察官・警察行政職等採用試験の概要等について

令和5年度 警察官・警察行政職等採用試験の概要等について報告があった。

#### 委員のコメント

- 広く募集して、高い採用倍率を維持してほしい。
- 人物評価は難しいと思うが、優秀な人材を多く採用してほしい。
- 山形県警察の質が高いのは、採用倍率が高いことも要因の一つだと思っている。是非優秀な人材が集まるよう努めてほしい。

### 3 令和4年度第4四半期における監察実施状況等について

令和4年度第4四半期における監察実施状況等について報告があった。

#### 委員のコメント

- 良い事例は、各警察署に共有してほしい。また、過去の事例では、基本の不徹底により、非違事案につながったケースが散見されるので、実施項目の形式的な確認だけではなく、業務が基本に忠実に実行されているか、今後も注意を払ってほしい。
- 通常点検の様子は、報道機関でも取り上げられており、服装や業務の基本を見直す、非常に良い機会だと思う。
- 警察学校において、非違事案防止のための教養を徹底してほしい。

### 4 春山期における山岳遭難の防止対策等について

春山期（4月～6月）における山岳遭難の防止対策等について報告があった。

### 委員のコメント

- 引き続き、登山による遭難、事故防止について注意喚起してほしい。
- 県内には多くのキャンプ場があるとのことだが、他県では朽木がテントに倒れる事案も発生しているので広報により警戒を強化してほしい。
- 高齢化により遭難事故の増加が懸念される。防止対策を進めてほしい。

## 5 「自転車月間」及び「春の交通安全県民運動」の実施について

本年5月に実施される「自転車月間」及び「春の交通安全県民運動」の実施について報告があった。

### 委員のコメント

- 自動車優先の意識が当たり前になっていないか。運転者には、横断歩道に歩行者がいたら止まる、という意識を引き続き醸成してほしい。
- 自転車のヘルメット着用が努力義務化されたが、自転車月間における事故防止活動の中で、ヘルメット着用について広報啓発してほしい。また、反射材とヘルメットの販売促進について量販店に働き掛けてみてはどうか。
- 電動キックボードについては、7月から道路交通法が改正され、販売事業者等が交通安全対策を講じなければならないという努力義務が生じるが、販売事業者への指導も万全を期してほしい。

## 6 「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について

本年4月25日に開催された「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会について報告があった。

### 委員のコメント

- サイバー攻撃など、どのようなテロ攻撃が発生しているか、情報を共有しながら、官民連携によって対策を推進してほしい。
- 計画から犯行まで単独で行うローン・オフエンダーと言われる者の対策がさらに重要になる。様々なテロ行為を想定しながら、今後も対策を推進してほしい。また、G7広島サミットにおいては、警護にも万全を期されたい。
- 会議の参加者も増えており、有意義な会議と思う。当県の場合、主な対策としては火薬、爆薬等の販売店対策が必要と感じるが、今後も当会議を継続して対策を講じてほしい。